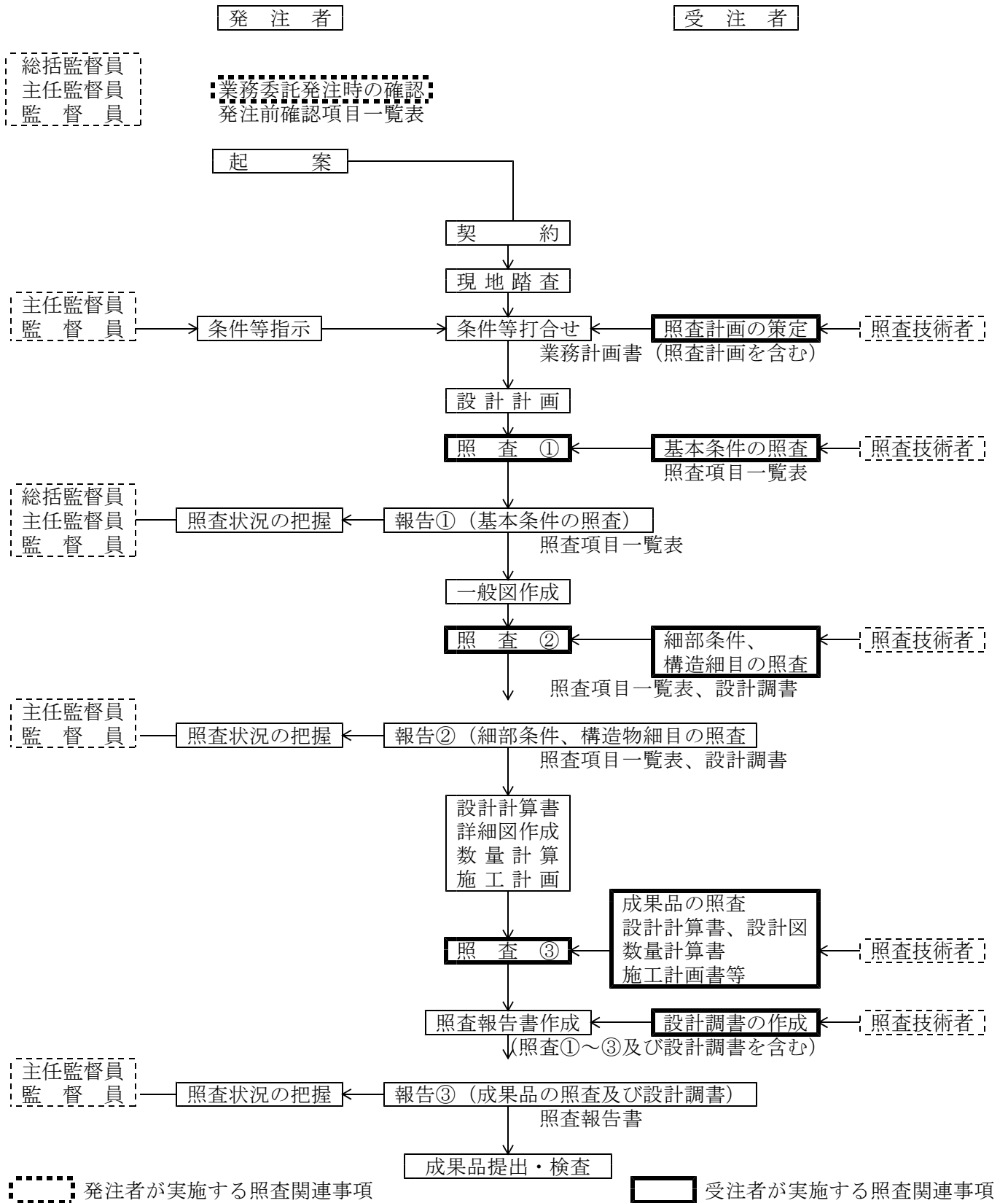


排水機場詳細設計照査要領

平成21年4月

排水機場詳細設計照査フローチャート



注記 ※ 照査②の段階より、設計調書の有効活用を図る。
 ※※ 工程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時に打ち合わせにより設定する。

基本条件の照査項目一覧表

(照 査 ①)

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照査の日付 : 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		備 考
				該 対	照 査	
1	設計の目的、設計範囲	1) 目的・設計範囲を理解したか	業務計画書			
2	機場名	1) 機場名を確認したか	業務計画書			
3	河道条件	1) 本川及び支川の河道改修計画（暫定計画、将来計画）を把握したか 2) 本川及び支川の計画平面、縦断、横断形状を理解したか 3) 本川及び支川の計画堤防の定規断面を理解したか 4) 本川及び支川の水力条件を理解したか	設計条件の整理、検討書			
4	設計基本条件 ①機電設備関係 (主ポンプ関係)	1) ポンプ総排水量を確認したか 2) 暫定、全体計画を確認したか 3) ポンプ台数割を確認したか 4) ポンプ形式、口径を確認したか 5) ポンプ床形式確認したか 6) ポンプ運転水位を確認したか (始動、停止、非常停止) 7) ポンプ揚程を確認したか (計画、実揚程、全揚程) 8) 吐出ゲートの位置・規模を確認したか 9) 吐出ゲートの形式を確認したか 10) スクリーン、除塵設備の設置数を確認したか 11) スクリーン、除塵設備の形式を確認したか 12) 沈砂池の設置の有無を確認したか 13) 沈砂池の規模及び除去対象となる土砂の粒径を確認したか 14) 運転管理方式を確認したか 15) 原動機の種類・容量を確認したか 16) 原動機方式を確認したか 17) 自家発電設備の容量を確認したか 18) 予備発電装置を確認したか 19) 受変電設備の容量を確認したか 20) 冷却設備の方式を確認したか 21) 冷却水槽の有無及び容量を確認したか	設計条件の整理、検討書			

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		備 考
				該 当 対 象	照 査	
	②土木関係	22) 冷却水槽の防水対策を確認したか 23) 天井クレーンの形式・容量・揚程等を確認したか 24) ポンプ運転時間の設定を確認したか 25) 燃料槽の容量、構造を確認したか 26) 騒音規制を確認したか 27) ゴミの収集方式及び処理方法を確認したか 28) 非常用のゲート操作は確認したか 29) ポンプ設備等の搬入、据付、搬出方法を確認したか 30) 遠隔操作設備を確認したか 31) 施設監視設備の有無を確認したか 32) 通信回線の必要性を確認したか 1) 機場設置位置と全体配置は適正か 2) 吸水槽の深さ、幅は適正か 3) 渦流防止等の配慮は適当か 4) 角落し等の施設が考慮されているか 5) ポンプ室、エンジン室の高さは適正か 6) スクリーン受の構造諸元は適正か 7) 吐出水槽の設置位置、規模、高さは適正か 8) 吐出樋管の構造形式を確認したか 9) 樋管の計画諸元は適正か （設置位置、規模、設計流速、断面、敷高、河道計画との整合） 10) 樋管上屋の有無を確認したか 11) 基礎形式の基本方針を把握したか 12) 護岸タイプを把握したか 13) 取付水路の形式を把握したか 14) 吐出先の洗掘に対する検討 15) 塩害対策の有無 16) 機場完成後の維持管理に対し検討をしたか（内外水位計、照明設備、情報の伝達の方法、管理運転等） 17) 仮設備設計（仮締切工法、土留方法等）の構造形式は適切か	設計条件の整理・検討書			

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		備 考
				該 対	当 象 照 査	
5	③建築関係	1) 機场上屋の位置・規模（階層、面積）を確認したか 2) クレーンの規模を確認したか 3) 諸室のスペース、配置を確認したか 4) 機场上屋の構造形式を確認したか 5) 常駐人員、操作人員を確認したか 6) 見学者対応の方針を把握したか 7) 身障者対応の方針を把握したか 8) 外構整備の方針を把握したか 9) 給排水設備を確認したか	設計条件の整理・検討書			河川構造物の耐震性能照査指針(案)
	地盤条件	1) 地層構成の把握は妥当か 2) 土質定数の設定は妥当か 3) 支持力、地盤バネ値の設定は妥当か 4) 地下水等の設定は妥当か 5) 追加調査の必要性はないか 6) 軟弱地盤として検討する必要性を確認したか (圧密沈下・液状化・地盤支持力・法面決定・側方移動等)	基礎工検討書			
	設計震度	1) 耐震設計は妥当か 2) 地盤種別は妥当か 3) 水平震度は妥当か	震度検討書			
	使用材料	1) 使用材料の規格、許容応力度は妥当か	設計応力度一覧表			
	地形条件	1) 用地境界を確認したか 2) 施工ヤード、スペースを確認したか	用地境界図			
	施工上の基本条件	1) 施工条件の基本を確認したか (搬入路、施工ヤード、水の切廻し、一般交通の切り回し) 2) 旧施設の撤去方法を確認したか 3) 工事時期を確認したか 4) 漁業への影響調査を確認したか 5) 地下水への影響を確認したか				

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		備 考
				該 当 対 象	照 査	
1 0	関連機関との調整	1) 関連機関（他の河川管理者との調整、道路管理者との調整）との調整内容を確認したか	協議書など			
1 1	貸与資料	1) 貸与資料の不足点、追加事項はあるか	業務計画書			
1 2	景観設計	1) 景観設計の必要性、方針、規格、適用範囲を理解したか 2) 景観設計の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか				
1 3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況（流況、河床、排水系統、現場周辺の土地利用、建物）を把握したか 2) 河川の利用条件（漁業への影響、舟溜り等の有無）を把握したか 3) 交通状況、進入道路等、周辺の道路状況を把握したか 4) 環境状況（工事における振動、騒音、防臭、防虫等の配慮面）を把握したか 5) 支障物件（地下埋設物、架空条件の整理、既設樋管との離れ度）の状況を把握したか 6) 付帯施設の有無、旧施設撤去及び電力源等有無を把握したか 7) 法令、条件に関する調査の必要性があるか 8) 出来上がりの環境面を配慮した自然環境、周辺環境を把握したか 9) 排水先の水質状況を確認したか	現場写真など			
1 4	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書を確認したか	コスト縮減設計留意書			
1 5	建設副産物対策	1) 予備設計で作成されたリサイクル計画書を確認したか	リサイクル計画書			

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

（追加項目記入表）

No.	項 目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査 ①		備 考
				該 当 対 象	照 査	

細部条件の照査項目一覧表 (照 査 ②)

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照査の日付 : 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ②		備 考
				該 当 対 象	照 査	
1	一般図	1) 一般平面図、縦断図、横断図は妥当か (様式－１設計基本条件との整合が図られているか)	全体計画図			
2	機場本体工 (吸水槽)	1) 機電設備との整合はなされているか 2) 機場上屋計画との整合はとれているか 3) 渦流防止等の配慮はなされているか 4) 騒音、振動等に配慮した構造となっているか 5) 維持管理の配慮はされているか (点検口、タラップ等) 6) 構造諸元は妥当か (鉄筋かぶり、ピッチ、継手、段落し位置、折曲げ位置等) 7) 吸水槽の深さ、幅、天端高は適当か 8) 角落し等の施設は考慮されているか 9) 非常用ゲート操作は妥当か	一般構造図 一般構造図 一般構造図 一般構造図 一般構造図 一般構造図 設計条件の整理、検討書			
3	機場上屋	1) 機電設備との調和がされているか 2) 土木構造との整合はとれているか 3) 操作員、事務所等の居住空間及び環境を確保したか 4) 上屋高さ制限をクリアしているか 5) 環境基準を確認したか 6) 防音対策は適当か 7) 意匠計画は妥当か 8) 構造諸元は妥当か 9) 設備設計は妥当か 10) 建築関係法規等と確認したか 11) 電波障害の対策は必要ないか	一般構造図 一般構造図 一般構造図 設計条件の整理、検討書 " 設計調書 設計調書			

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ②		備 考
				該 対	照 査	
4	スクリーン受、沈砂池、吐出水槽 ①スクリーン受 ②沈砂池 ③吐出水槽 ④構造細目	1)一次スクリーン、二次スクリーンの位置は適正か 2)スクリーンの形式、勾配、材質は適切か 3)除塵設備を設置するスペースは適切か 4)ゴミの収集スペース及び処分方法を確認したか 1)沈砂池の設置の有無を確認したか 2)流入部で偏流が生じないか 3)沈砂池の大きさ、流速及び除去対象となる土砂の粒径の決定は妥当か 4)揚圧力を考慮しているか 5)床版厚は適切か 6)安全対策は配慮したか 1)サージングを考慮した高さとしているか 2)計画堤防高以上の高さとなっているか 3)前後の構造物と絶縁しているか 4)形状、敷高は妥当か 5)機械設備との調整がされているか 6)維持管理の配慮がされているか 7)安全対策はされているか 8)堤防定規断面との位置関係は適切か 1)構造細目は妥当か (鉄筋かぶり、ピッチ、継手、段落し位置、折曲げ位置等)	設計条件の整理・検討書			
5	吐出樋管	(樋門・樋管詳細設計照査要領による)				
6	付帯設備	1)水位観測施設、安全施設の配置は適切か 2)上屋重油タンクの配置・規模は適切か 3)飲料水、洗浄水の位置は適切か				

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ②		備 考
				該 当 対 象	照 査	
7	外構設計	1)施設配置は妥当か 2)排水計画は妥当か	比較検討書			護岸の力学的設計法
8	取付水路工	1)範囲、設置位置、平面形状は妥当か 2)水路護岸の設置高さは妥当か 3)放流時の水流による洗掘対策は妥当か				
9	護岸工、階段工	1)護岸工の範囲、設置位置は妥当か 2)護岸工の設置高さ、形式は妥当か 3)階段工の構造は妥当か 4)階段工の法面保護の範囲は妥当か				
10	冷却水槽	1)冷却水槽の有無は確認しているか 2)冷却水槽の容量は確保されているか 3)防水対策は妥当か				
11	燃料槽	照査1と重複 1)容量は確保されているか 2)消防法との整合を図っているか				
12	基礎工	1)形式、寸法は妥当か （杭の場合、杭種、杭径等） （直接基礎の場合、沈下量等の検討） 2)支持層への根入れは妥当か 3)ネガティブフリクションの照査を行ったか 4)施工方法は環境面を考慮して選定しているか 5)構造諸元（杭頭処理、継手）は妥当か 6)遮水矢板の配置、長さは妥当か 7)液状化の検討は妥当か 8)杭の配置は上部からの荷重伝達を配慮しているか 9)杭の最小、最大間隔を配慮しているか				
13	軟弱地盤対策工	1)対策工の目的及び工法は妥当か 2)対策工の効果の判定及び範囲は妥当か				

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ②		備 考
				該 対	照 査	
1 4	施工計画	1) 施工時期、他の工事との整合がとれたか 2) 打合せ事項は反映されているか 3) 現場への配物の処置方法は適正か、リサイクル計画書を考慮したか 4) 建設副産物の処理方法は適正か、リサイクル計画書を考慮したか	施工計画書 施工計画書			
1 5	仮設備設計	1) 仮設切提の構造の高さは妥当な能力は考 2) 仮設切提の設置時の河川の流下能力は考 3) 仮設切提の廻路の長さ、安全性は妥当な 4) 仮設切提の廻路（長尺物等の搬入経路）の 5) 仮設切提の設置は妥当か 6) 仮設切提の構造は妥当か 7) 仮設切提の掘削方法の形状は妥当か 8) 仮設切提の掘削方法の形状は妥当か 9) 仮設切提の掘削方法の形状は妥当か 10) 仮設切提の掘削方法の形状は妥当か 11) 仮設切提の掘削方法の形状は妥当か 12) 仮設電源設備は妥当か	施工計画書			
1 6	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計 留意書について検討を行っているか				

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

（追加項目記入表）

No.	項 目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査 ②		備 考
				該 当 対 象	照 査	

	総括監督員	主任監督員	監督員
発注者印			

成果品の照査項目一覧表 (照査 ③)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	項 目	主 な 内 容	提 示 資 料	照 査 ③		備 考
				該 当 対 象	照 査	
1	設計計算（土木）	1) 安定計算結果は許容値を満たすか （撓み量、変位量、安定に対する安全度） 2) 荷重、許容応力度の取り方は妥当か 3) 荷重図、モーメント図等は描かれているか 4) 施工を配慮した計算となっているか 5) 作用応力度は許容値を満たすか	設計計算書			
2	建築設計	1) 荷重、許容応力度の取り方は妥当か 2) 作用応力度は許容値を満たすか 3) 設備容量計算は適正か	設計計算書			
3	基礎工	1) 杭径、杭配置は適正か 2) 杭頭処理、杭の継手位置は適正か 3) 地盤改良の配置は適正か 4) 地盤改良材は適正か	設計計算書			
4	設計図	1) 縮尺は共通仕様書、特記仕様書と整合しているか 2) 全体一般図等に必要な項目が記載されているか （水位、地質条件等） 3) 使用材料は計算書と一致しているか 4) 構造詳細は、適用基準及び打合せ事項と整合するか 5) 各設計図がお互いに整合されているか ・ 一般平面図と縦断図 ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか（特に応力計算、安定計算等が適用範囲も含めて整合されているか） ・ 壁厚 ・ 鉄筋（径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、段落し位置、主鉄筋の定着長、ガス圧接位置）	設 計 図 設 計 図			

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	項 目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査 ③		備 考
				該 対 象	照 査	
5	数量計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼材形状、寸法 ・使用材料 ・その他 7) 取り合い部の構造寸法は適正か 8) 解り易い注記が記載されているか 9) 計算結果に基づいた、適切な配筋がなされているか 10) 水位等、設計条件が図面に明示されているか 11) 図面が明瞭に描かれているか (構造物と寸法線の使いわけがなされているか)	数量計算書			土木工事数量算出要領
		1) 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか (有効数字、位取り、単価、区分…) 2) 数量計算に用いた寸法は図面と一致するか 3) 数量取りまとめは、種類ごとに、材料ごとに打合せ区分にあわせてまとめられているか 4) 数量計算の照査がなされているか	数量計算書			
6	施工計画並びに仮設備設計	1) 施工法が妥当であるか 2) 経済性、安全性が配慮されているか 3) 工事時の環境面が配慮されているか	施工計画 仮設備設計 計算書			
7	設計調書	1) 調書の記入は適正になされているか (吐出樋管については、樋門・樋管詳細設計要領を利用)	設計調書			
8	報告書	1) 報告書の構成は妥当か 2) 設計条件の考え方が整理されているか 3) 比較検討の結果が整理されているか 4) 工事発注に際しての留意事項が記述されているか	報告書			
9	建設副産物	1) リサイクル計画書を作成しているか	リサイクル 計画書			
10	TECRIS	1) TECRISの登録を行ったか	登録受領書			

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

（追加項目記入表）

No.	項 目	主 要 内 容	提 示 資 料	照 査 ③		備 考
				該 当 対 象	照 査	

場詳細設計調書（ / ）

業 務 名	
機 場 名	
河 川 名	
所 在 地	
事 務 所 名	事務所
受 注 者 名	
管 理 技 術 者	
照 査 技 術 者	
作 成 年 月 日	平成 年 月 日

排水機場詳細設計調書 (/)

設計概要

工 事 名 称		発 注 者 名			
所 在 地		設 計 者 名			
敷地規制条件	主 要 用 途	建 物 概 要	敷 地 面 積	㎡	
	都 市 計 画 区 域		建 築 面 積	㎡	
	防 火 地 域		延 面 積	㎡	
	その他の 地域指定		容積率対象床面積	㎡	
			〃 対象外床面積	㎡	
	建 ぺ い 率		%	建 ぺ い 率	%
	容 積 率		%	容 積 率	%
	道 路 種 別		国道、県道、市道、町道、村道、私道	道 路 幅 員	東 m、西 m、南 m、北 m
工 事 範 囲	土木工事 建築工事（昇降機設備工事 含 , 無） 機械設備工事 電気設備工事 換気設備工事 空調換気設備工事 浄化槽設備工事 外構工事	構 造	R C 構造 , S R C 造		
		階 数	地下 階、地上 階、塔屋 階		
		工 事 種 別	新 築 、 増 築 、 改 築		
		各 階 床 面 積			

排水機場詳細設計調書 (/)

ポンプ排水設備諸元

総排水量	m ³ /s		
主 ポ ン プ	形 式		
	口 径	(mm)	
	吐 出 量	(m ³ /s)	
	台 数		
	設計実揚程	(m)	
原 動 機	定格出力	(kw)	
	形 式		
冷却方式			
計 画 水 位		吸水槽	吐出水槽
	高水位（許容湛水位）		
	運 転 開 始 水 位		
	運 転 停 止 水 位		
	運 転 可 能 最 低 水 位		

自家発電設備	出力 KVA × 台, 形式
自家発原動機	出力 kw × 台, 形式
商 用 電 源	KW (特高、高圧、低圧)
除 塵 機	設置箇所 ケ所, 形式
燃 料 貯 油 槽	容 量 KL. 形 式

吐出（樋管）ゲート

形 式		門 数	
形状寸法	純径間	m × 扉高	m
開閉荷重	開時	kN, 閉時	kN
開閉装置	形式		kN用

排水機場詳細設計調書 (/)

土木関係①

項 目	細 目	決 定 事 項	決 定 根 拠 (基準、その他)	備 考
1. 機場本体	1) 吸水槽流入部敷高			
	2) 吸水槽吸込口敷高			
	3) ポンプ設置フロアー高			
	4) 原動機設置フロアー高			
	5) 吸水槽有効幅			
	6) 搬入口幅			
	7) 流水方向延長			
	8) 流水直角方向延長			
2. 吐出水槽	1) 水槽幅			
	2) 水槽長さ			
	3) 水槽天端高さ			
	4) 水槽敷高			
	5) 堤防からの離れ			

排水機場詳細設計調書 (/)

土木関係②

項 目	細 目	決 定 事 項	決 定 根 拠 (基準、その他)	備 考
3. スクリーン受 (一次)	1) 有効幅員			
	2) 流水直角方向延長			
	3) 流水方向延長			
4. スクリーン受 (二次)	1) 有効幅員			
	2) 流水直角方向延長			
	3) 流水方向延長			
5. 沈砂池	1) 沈砂池幅			
	2) 沈砂池長			
	3) 沈砂池敷高			
6. 吐出樋管	1) 設計流速			
	2) 樋管断面			
	3) 樋管敷高			
	4) 設置位置			

排水機場詳細設計調書 (/)

機電関係①

項 目	細 目	決 定 事 項	決 定 根 拠 (基準、その他)	備 考
1. 主ポンプ関係 (1) 平面計画	1) 機場全体寸法	流水方向 m		
		流水直角方向 m		
	(2) 立面計画	1) 高さ	エンジン室側 GL	
管理室側 GL				
	2) 基本柱間隔	柱芯 桁行 m 梁行 m		
2. 補機関係	1) エンジン室梁間及び高さ	柱芯間距離 m		
		床～梁下間高さ m		
	2) クレーン型式容量	型式…容量 トン/ トン		
	3) 換気設備	方式…容量 m ³ /s × 台		
	4) エンジン室搬入口寸法	高さ m 幅 m		
	5) 電気室天井高さ	m		
	6) 操作室天井高さ	m		
	7) 電気室・操作室搬入口	高さ m 幅 m		
8) 煙突の諸元	方式…形状内径 m × m 高さ m			

排水機場詳細設計調書 (/)

建築関係①

項 目	細 目	決 定 事 項	決 定 根 拠 (基準、その他)	備 考
1. デザイン	デザイン仕上等			
2. 構造関係	1) 地震係数		建築基準 土木に一致	
	2) 構造型式			
	3) 使用材料等	コンクリート FC=21N/mm ² 鉄 筋 SD295 (D29 以上は SD345 使用) 鉄 骨 SS400		
	4) 各所部材厚	床版 エンジン室屋根 t= M/M 一般屋根 t= M/M 一般床版 t= M/M 壁 エンジン室外壁 t= M/M エンジン室内壁 t= M/M 一般室外壁 t= M/M 間仕切壁 t= M/M 階段 床版 t= M/M 壁 t= M/M		
	5) 各室の床積載荷重			

排水機場詳細設計調書 (/)

建築関係②

項 目	細 目	決 定 事 項	決 定 根 拠 (基準、その他)	備 考
3. 設備関係 (1) 給排水 衛生設備	1) 給水設備	飲料水 洗浄水		
	2) 給湯設備設置個所	浴室、台所、湯沸室		
	3) 排水設備	浄化槽、公共下水道		
	4) ガス設備	L P G、都市ガス		
	5) 防災設備			
	6) 換気設備	エンジン室 ポンプ室… 展示室 電気室… その他…		
	7) 空調設備			
(2) 電気設備	1) 幹線設備(100V)			
	2) 動力設備(200V)			
	3) 電灯設備	照度 ポンプ室 ルックス エンジン室 ルックス 動力室 ルックス 展示ホール ルックス 操作室 ルックス 事務室等 ルックス		
	4) 電話配管設備	・ 端子盤設置位置 ・ 設置個所		

排水機場詳細設計調書 (/)

建築関係③

項目	細目	決定事項	決定根拠 (基準、その他)	備考
	5) テレビ共聴設備	屋上アンテナ 設置個所		
	6) 放送設備	アンプ 設置個所		
	7) インターホン設備	方式 接続個所		
	8) 自動火災報知器設備	受信機設置個所 副受信機設置個所		
	9) 避雷針設備			
5. 外構整備	1) 施設配置			
	2) 排水施設、排水先			

排水機場詳細設計調書 (/)

基礎工① 杭基礎

構造物名	仕 様 書					状 態	鉛直支持力 (kN/本)		杭 の 応 力 度 (N/mm ²)				杭 頭 変 位 量		杭 の 打 込 工 法	備 考	
	杭種	杭径 (mm)	長さ (m)	杭 本 数 (本)	杭頭条件		計 算 値	許 容 値	圧縮応力度		引張応力度		計 算 値	許 容 値			
									計算値	許容値	計算値	許容値					
						常 時											
						地震時											
						常 時											
						地震時											
						常 時											
						地震時											
						常 時											
						地震時											
						常 時											
						地震時											

基礎工② 軟弱地盤対策工及び直接基礎

構造物名	軟弱地盤対策工の有無及び目的	軟弱地盤対策工の種別	対策工の範囲	対策工の効果	支持力（度）		備考
					計算値 (N/mm ²)	許容値 (N/mm ²)	

排水機場詳細設計調書 (/)

応力度照査表

構造物名

○計算モデル（骨組図、荷重図、応力図等を記入）

応 力 照 査 位 置							
断 面 力	曲げモーメント M (kN・m)						
	軸 力 N (kN)						
	せん断力 S (kN)						
部 材 厚 (cm)							
使 用 鉄 筋							
鉄 筋 量 A s							
発 生 応 力 度	σ_c (N/mm ²)						
	σ_s (N/mm ²)						
	τ_a (N/mm ²)						
許 容 応 力 度	σ_{ca} (N/mm ²)						
	σ_{sa} (N/mm ²)						
	τ_a (N/mm ²)						
決 定 し た ケ ー ス							